

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
小児看護学概論	1年次 後期	必修	講義	1単位（15時間）	櫻井 照美 ※
授 業 概 要					
<p>小児看護の土台となる授業である。小児看護は、子どもの成長発達や健康状態をふまえながら子どもと家族が健康な生活を送れるように働きかけをすることである。小児看護の対象や子どもと家族が生活する場・子どもを取りまく社会システム（保健・医療・福祉・教育）、小児看護の変遷、子どもの権利を保障するための基本的な考え方、子どもと家族の諸統計、子どもをめぐる法律や政策、小児看護の役割を理解する。そして、子ども各期の特徴や発達課題、子どもの成長発達と成長発達の評価を学ぶ。</p>					
到 達 目 標					
<p>1．小児看護の対象と子どもを取りまく社会システム(保健・医療・福祉・教育)を述べる。 2．子どもと家族の諸統計について述べる。 3．子ども各期の特徴や発達課題を述べる。 4．子どもの成長発達と成長発達の評価について述べる。 5．子どもの権利と医療現場での倫理問題に気づきを示す。 6．小児看護の役割を述べる。</p>					
回	学 習 内 容				担当教員
1-3	1．小児看護の理念と役割 1) 小児看護の対象（子どもを取りまく社会システムを含む） 2) 小児医療・小児看護の変遷 3) 子どもの権利と医療現場での倫理的問題 4) 子どもと家族の諸統計 5) 小児看護の役割				櫻井 照美 ※
4-6	2．子どもの成長発達 1) 成長発達とは 2) 成長発達の原則 3) 成長発達に影響を及ぼす因子 4) 子ども期の発達段階の区分と特徴 5) 発達課題・発達理論 6) 子ども各期の成長発達（形態的成長、機能的発達、精神運動機能の発達）				
7	3．成長発達の評価				
学 習 方 法					
講義・課題学習。課題を提示するので、課題にそって学習し、講義にのぞむ。					
評 価 方 法					
〔評価方法〕 科目修了試験、課題レポート。詳細は、初回講義時に提示する。					
先 修 科 目					
なし					
教科書、参考書					
〔教科書〕 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学〔1〕 小児看護学概論 小児臨床看護総論 奈良間美保 他 医学書院					
〔参考書〕 厚生指標 国民衛生の動向 厚生統計協会					